

オフィスあんしんバックアップサービス ご利用ガイド

～ 大容量バックアップ専用ツール編 ～

改訂履歴

版	改訂日	改訂内容
1.0	2023/6/1	初版作成
1.1	2023/11/20	本ツールについての説明を更新しました。(1-1) 設定引継ぎおよび自動バックアップ設定に関する注意書きを追記しました。(3-3) オンラインストレージ領域およびセキュリティ領域（手動バックアップ）内でのファイルフォルダ操作機能を追加しました。(8-1、8-2) 契約者間同期フォルダ機能を追加しました。(8-3)
1.2	2024/3/26	本ツールについての説明を更新しました。(1-1、3-3)
1.3	2025/9/30	本ツールについての説明を更新しました。(1-1、3-3、6-1、6-2、7-1)

※本書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。
なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。

※画面イメージは、実際の画面とは一部異なる場合があります。予めご了承ください。

ご注意

本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはお控えください。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

本書に、ご不明な点、誤り、記載漏れ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

目次

1 概要	3
1-1 大容量バックアップ専用ツールについて	3
1-2 認証モードについて	5
1-3 制限事項について	6
1-4 ご利用可能なフォルダについて	7
1-5 バックアップファイルの世代管理について	8
2 機能一覧	9
3 ご利用開始	10
3-0 ご利用環境の確認	10
3-1 本ツールのダウンロード・インストール	10
3-2 ログイン	11
3-3 自動バックアップ設定	13
4 回線認証等のご利用開始	18
4-1 回線認証でご利用の場合(ログイン)	18
4-2 プロキシサーバをご利用の場合	19
5 メインメニュー	20
6 設定	21
6-1 バックアップ設定	21
6-2 お知らせ通知	28
6-3 ツール設定	30
7 履歴	31
7-1 バックアップ履歴	31
7-2 復元履歴	35
8 ファイル／フォルダ操作	37
8-1 オンラインストレージ領域およびセキュリティ領域（手動バックアップ）内での操作	38
8-2 セキュリティ領域（自動バックアップ）内での操作	40
8-3 契約者間同期フォルダ機能	43
9 容量確認	53
10 このツールについて	54
11 タスクトレイについて	55

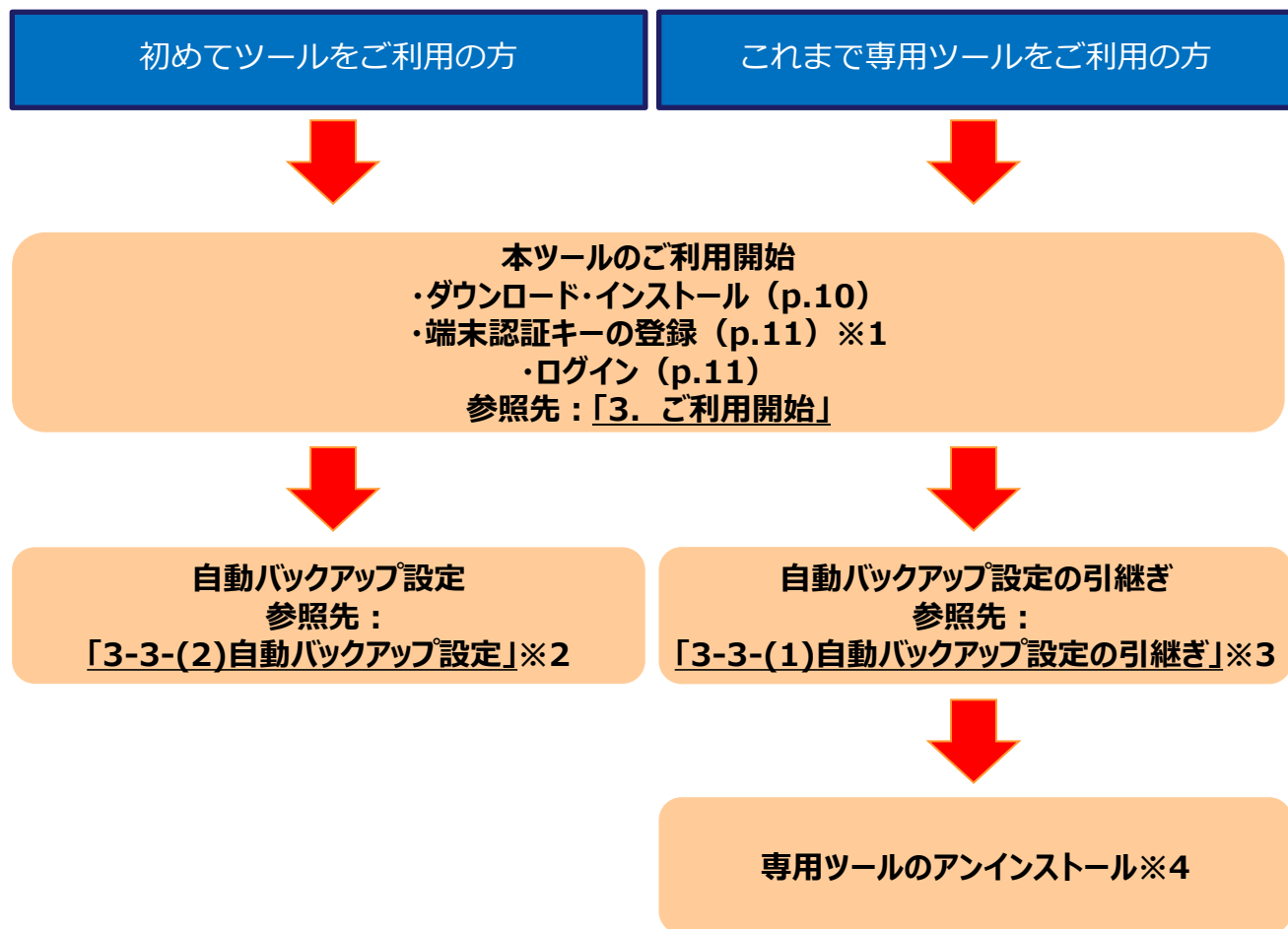
1 概要

1. 大容量バックアップ専用ツールについて

大容量バックアップ専用ツール（以下、本ツール）は、自動バックアップおよびそのデータの復元、削除に特化したツールでしたが、バージョンv1.2.0.0以降マイフォルダ、グループフォルダ、契約者間同期フォルダのファイル操作も可能となっており、専用ツールと同等の機能を具備しております。
詳細は「2.機能一覧」をご参照ください。

また、専用ツールは、2024年3月末をもってサポート終了しました。
これまで専用ツールをご利用していたお客さまは、本ツールへの移行にご協力をお願いします。

本ツールのご利用フローをご案内します。



※1 端末認証でご利用の場合、専用ツールで登録した端末認証キーとは別に端末認証キーの登録が必要です。そのため、ステータスが「登録待ち」である端末認証キーが無い場合は、新たに端末認証キーの発行が必要です。

※2 自動バックアップを利用しない場合、保存先フォルダ設定で「自動バックアップの設定をスキップ」を選択してください。

※3 自動バックアップをご利用していなかった場合も引継ぎ確認画面が表示されますが、「引き継ぐ」を押下することで、自動バックアップを利用しない設定が引き継がれます。

※4 専用ツールのアンインストールは、OSの設定アプリから実施してください。
(詳細は次ページの注意事項を参照)

1. 大容量バックアップ専用ツールについて

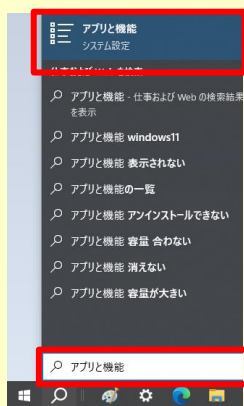
！ 注意事項

■ 専用ツールのアンインストールは、専用ツールが起動していないことを確認の上、下記の手順で実施してください。

※起動している場合は、専用ツールの右上の x ボタンで終了させてからアンインストールを行ってください。

※アプリと機能の起動方法については参考として記載します。

① WindowsOSの検索ボックスから、「アプリと機能」を入力し、OSの設定アプリを起動

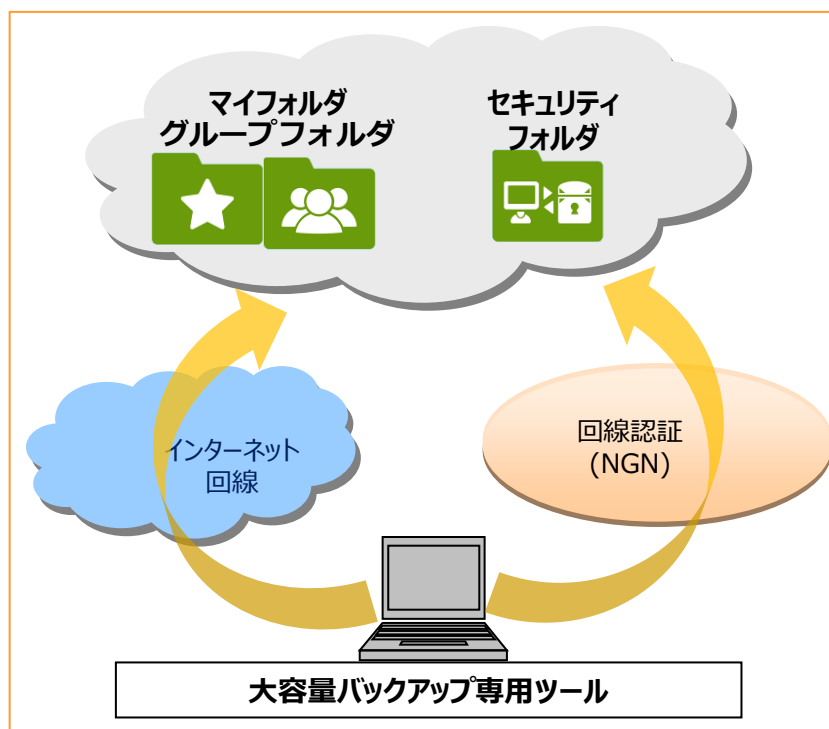


② 専用ツールの「アンインストール」を選択し、アンインストールを実行



2. 認証モードについて

大容量バックアップ専用ツールの認証モードならびにアクセス可能な回線は以下の通りです。



認証モード	アクセス回線	
	インターネット回線	NGN
回線認証	×	○
端末認証	○	○
回線認証・端末認証併用 ※	○	○

お申し込み時にN T T 東日本・N T T 西日本のフレッツ光回線、光コラボレーション事業者様光回線の「回線情報（頭文字3文字「CAF」）」をご連絡いただいた場合、本サービス利用開始時に「回線認証モード」となります。「端末認証モード」を併用をされる場合は、サポートセンターへ「セキュリティフォルダへアクセス許可」設定の「許可」への設定変更を依頼してください。

1 概要

3. 制限事項について

■ご利用になる端末ごとのアップロード／ダウンロードサイズ上限

項目	制限内容
アップロード／ダウンロード	30GB ※1ファイルあたり

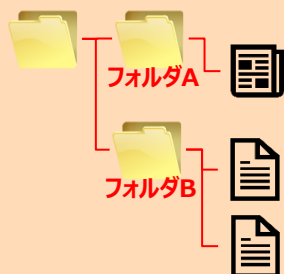
■その他制限事項

機能	制限内容
端末認証キー発行可能数	999まで
ファイル／フォルダ名の禁止文字	・¥ / : * ? " < > ・ファイル／フォルダ名の先頭に「.」
バックアップ対象の ファイル数の上限	100万ファイル（目安） ※
復元対象の ファイル数の上限	100万ファイル（目安） ※
削除対象の ファイル数の上限	100万ファイル（目安） ※

※お客様の端末環境やNW環境により異なる場合があります。

※所要時間はファイル数に依存するため、可能な範囲で対象となるデータを小分けにして実行いただく事を推奨します。

データを小分けにするイメージ



バックアップの場合：

下位層（フォルダAやフォルダB）をバックアップ元に設定

復元、削除の場合：

下位層（フォルダAやフォルダB）を選択して実行

1 概要

4. ご利用可能なフォルダについて

本サービスでは下記の保存先フォルダを利用します。

No	保存先	内容
1	 マイフォルダ	<ul style="list-style-type: none">● 管理者・利用者ごとに作成される個人ごとのフォルダです。● 他のIDからは保存・閲覧・編集等はできず、ご利用のIDからのみ可能です。
2	 セキュリティフォルダ	<ul style="list-style-type: none">● 自動バックアップ機能よりバックアップされたデータの保存先です。● 本ツールがインストールされている端末ごとのサブフォルダが作成されます。● このフォルダ内のファイル削除は可能です。
3	 グループフォルダ	<ul style="list-style-type: none">● ご契約ごとに自動的に作成されるフォルダです。● ご契約の管理者が作成した利用者も含め、全てのID間で相互に保存・閲覧等が可能です。● グループフォルダ直下にサブフォルダを作成できるのは管理者のみとなります。● 管理者により、保存・閲覧ができる利用者を制限できます。
4	 契約者間同期フォルダ	<ul style="list-style-type: none">● 契約者間同期フォルダ利用時の専用フォルダです。● 管理者でのみ同期フォルダの作成、編集、削除、同期メンバとして参加可能です。● 利用者は同期メンバとして参加可能です。● 管理者は自動的に、利用者は同期メンバに追加されたときに作成されるフォルダです。
5	 スマートフォンフォルダ	<ul style="list-style-type: none">● スマートフォン・タブレットからの自動バックアップデータならびに撮影した画像・動画ファイルを保存するフォルダです。● マイフォルダ直下とグループフォルダ直下に自動的に作成され、その配下にスマートフォン・タブレットの端末ごとにフォルダが作成されます。
6	 メールアップロードフォルダ	<ul style="list-style-type: none">● マイフォルダ用・グループフォルダ用メールアドレスに添付したファイル（写真・動画等）を保存するフォルダです。● マイフォルダ・グループフォルダそれぞれのフォルダ直下に作成されその配下に送付元のメールアドレス毎にフォルダが生成されます。

5. バックアップファイルの世代管理について

大容量バックアップ専用ツールでファイルをバックアップした場合、**最大10世代**まで過去の履歴が保持されます。

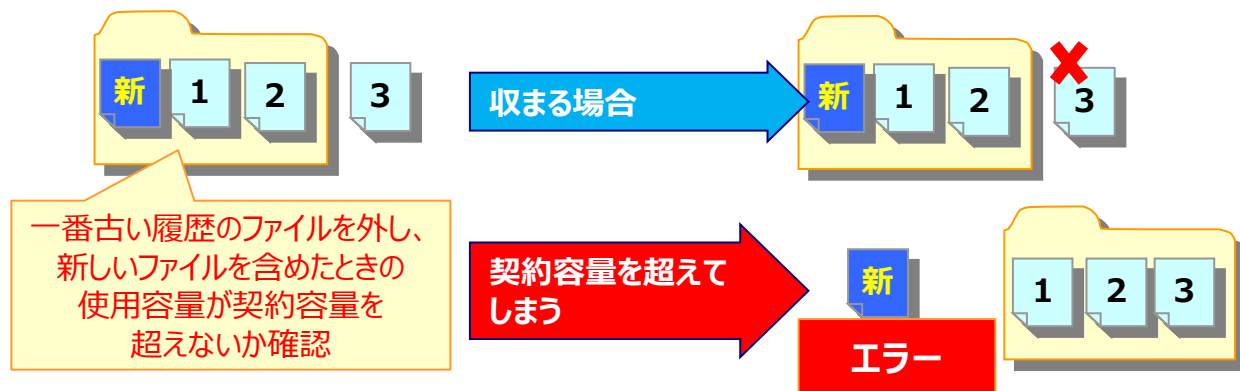
■ 世代管理についての注意点

世代数については、ブラウザでログインし、メニュー＞環境設定から設定可能です。

世代管理しているデータの容量も契約しているお客さま容量に含まれます。

一番古い履歴のファイルを外し、新しいファイルを含めた場合の使用容量が契約容量に収まる場合は、新しいファイルがバックアップされます。

収まらない場合は、バックアップエラーとなり新しいファイルがバックアップされません。



2 機能一覧

本ツールの主な機能をご紹介します。

機能名	機能概要
世代管理機能	最大10世代までバックアップできる機能
キャプチャー認証機能	パスワードを複数回間違えた場合、キャプチャー認証画面へ遷移するセキュリティ機能
自動バックアップ	お客様が指定したフォルダのデータを、予め設定した周期で自動バックアップする機能 (対応OSについては提供条件をご確認ください) ※保存対象と同等の空き容量が必要です。
使用容量インジケータ表示機能	本サービスの使用容量をインジケータでお知らせする機能
回線認証	通常のログイン（キャプチャ認証含む）に加え、回線認証によるセキュリティの強化を行う機能
端末認証	通常のログイン認証（キャプチャ認証含む）に加え、端末認証によるセキュリティの強化を行う機能
自動バックアップ結果通知	自動バックアップに失敗した場合に、任意のメールアドレス宛に結果を通知する機能
復元	自動バックアップしたデータを一括で復元する機能
プレビュー	Officeファイル（Word、Excel、PowerPoint）、PDFファイル、テキストファイルの内容をプレビューする機能
削除	バックアップしたデータを削除する機能
バックアップ機能	写真・動画・各種文書等のデータを選んでバックアップする機能
ダウンロード機能	バックアップしたデータをダウンロードする機能 ※世代を指定したダウンロードも可能
グループフォルダ機能	家族や事業所等で管理者・利用者が共通で使えるフォルダ機能
契約者間同期フォルダ機能	他のご契約者とファイルを共有できるフォルダ機能 ※管理者のみ作成・設定可能

3 ご利用開始

0. ご利用環境の確認

対応OS	
Windows	Windows 10（64bit）（2025年10月14日サポート終了予定）
	Windows 11（64bit（x64系に限る））
サーバ・NASなど	WindowsServer2016
	WindowsServer2019
	WindowsServer2022
	WindowsStorageServer2016
	WindowsServerIot2019
	WindowsServerIot2022

※Windowsユーザーが管理者権限（ローカルグループ「Administrators権限」）を所有している必要があります。
また、本ツールをインストールしたWindowsアカウントと自動バックアップ設定をするアカウントが同一アカウントである必要があります。

1. 本ツールのダウンロード・インストール

1 大容量バックアップ専用ツールの入手

ご利用希望の方は、以下のURLからダウンロードをお願いします。

※ <https://www.storage-online.net/common/download.html>

2 大容量バックアップ専用ツールの起動



デスクトップに表示されている大容量バックアップ専用ツールのアイコンをダブルクリックし、ツールを起動してください。

3 ご利用開始

2. ログイン

以下のログインを行ってください。

回線認証でご利用の場合は、「[4 - 1. 回線認証でご利用の場合\(ログイン\)](#)」を参照ください。
プロキシサーバをご利用の場合は、「[4 - 2. プロキシサーバをご利用の場合](#)」を参照ください。

1 大容量バックアップ専用ツールログイン

大容量バックアップ専用ツール

backup

●●●●●●●●

ログイン

[リタイアID、パスワードを忘れた方はこちら >](#)
[プロキシ設定 >](#)

① 端末認証 (IPv4) モード

[回線認証に変更する](#)

登録完了メールに記載されているログイン IDとパスワードで本ツールにログインします。

2 端末認証キーの登録

端末認証キー登録

この専用ツールは、端末認証キーが未登録です。端末認証キーを登録してください。

必須 端末認証キー

戻る

次へ

登録完了メールを参考に、端末認証キー入力し「次へ」をクリックしてください。

3 ご利用開始

2. ログイン

！ 注意事項

- 端末認証ご利用で、有効な端末認証キーが無い場合
ブラウザでログインし、メニュー＞ 端末認証キー管理の画面から新たに発行してください。



※ 端末認証でご利用の場合、専用ツールで登録した端末認証キーとは別に端末認証キーの登録が必要です。そのため、ステータスが「登録待ち」である端末認証キーが無い場合は、新たに端末認証キーの発行が必要です。

3 本サービスご利用上の注意事項への同意



続けて、本サービスご利用にあたっての注意事項が表示されます。

内容をご確認いただいた上で、
【A】上記内容に同意するにチェックを入れ、
【B】閉じるをクリックしてください。

3 ご利用開始

3. 自動バックアップ設定

(1) 自動バックアップ設定引継

以前より、専用ツールをご利用の場合は、
以下のような自動バックアップ設定引継ぎ画面が表示されます。
(専用ツールをご利用していないお客さまには、下記画面は表示されません。)



なお、専用ツールから設定を引き継ぐ対象は下記の3点です。

- ①自動バックアップタイミング（自動バックアップの実行周期、時間等）
- ②自動バックアップのバックアップ元フォルダ
- ③バックアップの実行履歴データ

! 注意事項

※) 自動バックアップをご利用していなかった場合

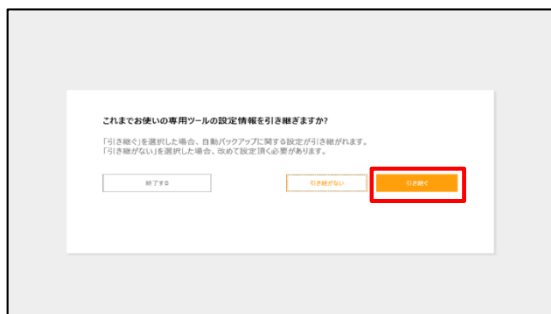
自動バックアップをご利用していなかった場合も上記画面が表示されますが、
「引き継ぐ」を押下することで、自動バックアップを利用しない設定が引き継がれます。

3 ご利用開始

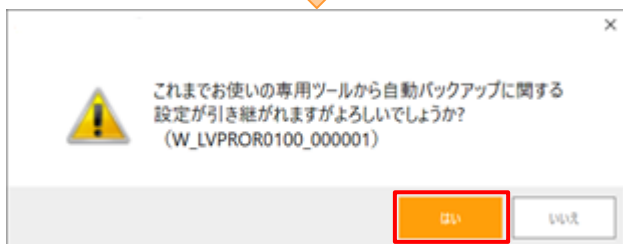
3. 自動バックアップ設定

以下の手順で、専用ツールから自動バックアップ設定の引継ぎを実施してください。

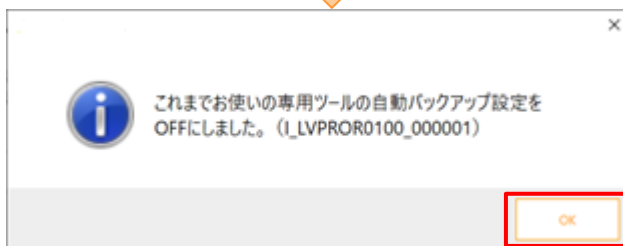
(1) 自動バックアップ設定引継



専用ツールから自動バックアップ設定を引継ぐ場合は、「引き継ぐ」をクリックします。



続いて、「はい」をクリックします。



自動バックアップ設定の引継ぎが完了すると左記画面が表示されます。「OK」をクリックします。

メイン画面が表示されますので、「設定」を参照し、バックアップ設定を確認してください。

3 ご利用開始

3. 自動バックアップ設定

以下の手順で自動バックアップ設定を行ってください。

(2) 自動バックアップ設定

1 保存先フォルダ設定

保存先フォルダの名前設定を行います。
端末名など、どの端末からの
バックアップか判別できる名前を入力し、
「次へ」をクリックします。

自動バックアップ設定が不要な場合、
「自動バックアップの設定をスキップ」をクリック
します。

2 バックアップ元フォルダ設定

自動バックアップする端末上のフォルダを
指定します。

【A】フォルダを選ぶをクリックすると、
フォルダ選択画面が表示されますので、
自動バックアップ対象としたい
フォルダを選択してください。
または、エクスプローラ上のフォルダを
左図の点線内にドラッグして指定することも
可能となります。

フォルダを選択後、[B]次へをクリックして
ください。

バックアップ元フォルダ内のファイル数は、100万ファイル以下となるように設定してください。
100万ファイル以上存在する場合は、100万ファイル以下になるよう分割して、
バックアップ元フォルダを設定してください。

(本画面では、1つのみ設定可能となり、複数設定する場合は、
「[6-1. バックアップ設定](#)」を参照し、バックアップ元フォルダを追加してください。)

3. 自動バックアップ設定

! 注意事項

※) ファイル属性における自動バックアップの可否について

バックアップ対象のファイル/フォルダに暗号化属性が付与されている場合、自動バックアップされません。暗号化属性を解除いただく等ご確認ください。

※) アクセス許可設定における自動バックアップの可否について

バックアップ対象のファイル/フォルダに対して、OSのユーザアカウント（SYSTEM、SYSTEMを含むグループ）にアクセス許可（読み取り）が付与されていない場合、自動バックアップされません。

なお、アクセス許可設定は、エクスプローラーにおいてバックアップ対象のファイル/フォルダを右クリックしプロパティから「セキュリティ」タブにて確認できます。

※) ネットワークドライブ割当てされたフォルダをバックアップ元に設定する場合

ドライブ割当て時に使用したユーザ名とパスワードをして入力してください。

※バックアップ元の設定前に、エクスプローラから対象のフォルダにアクセスできることを確認してください。

1 ————— 2 ————— 3

バックアップ元フォルダ バックアップ元フォルダ バックアップタイミング設定

自動バックアップするフォルダを選択してください。

ここにフォルダをドロップしてください。または フォルダを選ぶ

X:\バックアップ元

ネットワークドライブの割り当て時に設定したユーザ名/パスワードを入力して「次へ」ボタンを押してください。

※バックアップするフォルダに「管理者フォルダ」、「利用者フォルダ」は指定できません。
 ※バックアップするフォルダの名称に以下の禁止文字を含む場合や、フォルダ名の先頭に「.」を含む場合は、バックアップできません。
 ※禁止文字 ¥ / : * ? " < > |
 ※バックアップ対象フォルダの最大パスは260文字数です。最大パスを超えたフォルダはバックアップできません。（選択フォルダ配下でパスが260文字数を超えているフォルダもバックアップできません。）

戻る 次へ

3 ご利用開始

3. 自動バックアップ設定

3 自動バックアップ周期設定

自動バックアップするタイミングを設定してください。（設定は後でも変更できます。）

[A] ① 毎日実行する
[B] ② 曜日を指定して実行する
月 火 水 木 金 土 日

[C] 実行時間 11 時 00 分
一時停止期間を設定する
一時停止期間(開始) 11 時 00 分
一時停止期間(終了) 11 時 00 分

※ご指定の時間にパソコンの電源がOFFだった場合、次回パソコンを立ち上げ時に、自動バックアップが行なわれなかった旨の通知が表示されます。

戻る **[D]** 設定完了

自動バックアップの周期を指定します。
【A】毎日実行する、または【B】曜日を指定して実行するのいずれかを選択し、曜日指定の場合には実行する曜日を指定してください。

【C】バックアップ実行時刻を選択し、
【D】設定完了をクリックします。

自動バックアップが実行中でも一時停止する期間を設定可能です。
一時停止期間を設定するにチェックし、期間を設定してください。

! 注意事項

※) 端末の状態における自動バックアップの可否について

- お使いの端末の設定がスリープ、休止状態、電源断状態になっている場合、自動バックアップを設定した時間であっても自動バックアップは実行されません。自動バックアップは、端末が起動状態の時のみ実行されます。

自動バックアップを実行される際は、スリープや休止状態の設定を解除のうえご利用ください。

※) 本ツールの状態における自動バックアップの可否について

- 本ツールを本サービスからログアウトすると自動バックアップは実行されません。自動バックアップを実行される際は、本サービスにログインした状態でご利用ください。

4 回線認証等のご利用開始

1. 回線認証でご利用の場合(ログイン)

回線認証のご利用にはN T T 東日本・N T T 西日本のフレッツ光回線、光コラボレーション事業者様光回線が必要となります。

初回ご利用が西回線認証の場合は

「ご利用ガイド 大容量バックアップ専用ツール編【別紙】」を参照ください。

1 認証モードを回線認証モードに変更

ログイン画面が表示されたら、
「回線認証に変更する」をクリックして
ください。

回線認証モードのご利用に変更されます。

2 ログイン

ログイン画面が表示されたら、
ログインIDとパスワードを
入力し、「ログイン」をクリックします。

ログイン後の手順は、
「[6-1. バックアップ設定](#)」を
参照ください。

4 回線認証等のご利用開始

2. プロキシサーバをご利用の場合

1 プロキシ設定

大容量バックアップ専用ツール

backup

●●●●●●●●

ログイン

ログインID、パスワードを忘れた方はこちら

プロキシ設定 >

① 端末認証 (IPv4) モード

回線認証に変更する

ログイン画面から、
「プロキシ設定」をクリックしてください。

プロキシ設定

☒ プロキシ無し

☐ プロキシ設定を自動で検出する

☐ プロキシ設定を手動で入力する

ポート

アドレス

ユーザー名

パスワード

戻る 保存する

プロキシ設定画面が表示されます。
ホスト名やポートを設定し、「保存する」ボタンを
クリックします。

大容量バックアップ専用ツール

backup

●●●●●●●●

ログイン

ログインID、パスワードを忘れた方はこちら

プロキシ設定 >

① 端末認証 (IPv4) モード

回線認証に変更する

ログイン画面が表示されたら、
ログインしてください。

ログイン後の手順は、
「[6-1. バックアップ設定](#)」を
参照ください。

5 メインメニュー

1. 画面構成

◎画面の各項目について



記号	名称	機能	参照先
A	自動バックアップ関連設定	自動バックアップ設定／お知らせ通知設定／ツール設定ができます。 ※クリック後、自動バックアップ設定画面が表示されます。	・自動バックアップ設定については、「 6-1. バックアップ設定 」をご参照ください。 ・お知らせ通知設定については、「 6-2. お知らせ通知 」をご参照ください。 ・ツール設定については、「 6-3. ツール設定 」をご参照ください。
B	自動バックアップ・復元履歴	バックアップ履歴、削除履歴、復元履歴が確認できます。 ※バックアップ状況一覧または、復元状況一覧の表示が切り替え可能です。	・バックアップ履歴については、「 7-1. バックアップ履歴 」をご参照ください。 ・復元履歴については、「 7-2. 復元履歴 」をご参照ください。
C	ファイル/フォルダ操作	手動でバックアップ・ダウンロード等、自動バックアップしたファイル/フォルダの操作が行えます。	詳細は、「 8. ファイル/フォルダ操作 」をご参照ください。
D	容量確認	本サービスの使用容量をインジケータ等で確認できます。 ※クリック後、利用状況のご案内画面が表示されます。	詳細は、「 9. 容量確認 」をご参照ください。
E	ログ・設定ファイルの出力	本ツールの実行ログ、設定ファイルを指定する出力先へZIP圧縮し、出力します。	—
F	このツールについて	お使いのツールバージョンを表示し、更新版があればアップデートできます。 また、本サービスの注意事項や本ツールの利用規約が確認できます。	詳細は、「 10. このツールについて 」をご参照ください。
G	ログアウト	ログアウトを行います。	—

1. バックアップ設定

自動バックアップに関する設定を行います。

◎画面の各項目について

設定

バックアップ設定

お知らせ通知設定

ツール設定

A 自動バックアップ

☒ する

B 自動バックアップ・一時停止タイミング

毎日
14:00（一時停止：無し）

変更する

C バックアップ先との差分比較

差分比較アップロード:しない
差分比較削除:しない

変更する

D バックアップ先のフォルダ

//セキュリティフォルダ/DESKTOP-QMQ0RVJ

変更する

E 除外フォルダ・ファイル設定

除外拡張子:無し
隠しフォルダ・ファイルのバックアップ:しない

変更する

F バックアップするフォルダ

G 追加する

バックアップ設定/バックアップ元フォルダの追加

自動バックアップするフォルダを選択してください。

ここにフォルダをドロップしてください。または

フォルダを選ぶ

フォルダが選択されていません。

※バックアップするフォルダに「管理者フォルダ」、「利用者フォルダ」は指定できません。

※バックアップするフォルダの名称に以下の禁止文字を含む場合や、フォルダ名の先頭に「.」を含む場合は、バックアップできません。

※禁止文字 ¥ / : * ? " < > |

※バックアップ対象フォルダの最大パスは260文字数です。最大パスを超えたフォルダはバックアップできません。（選択フォルダ配下でパスが260文字数超えているフォルダもバックアップできません。）

戻る

追加する

6 設定

1. バックアップ設定

◎ 画面の各項目について

記号	名称	機能
A	自動バックアップ	自動バックアップを有効にするかを切り替えます。 する: 自動バックアップ有効 しない: 自動バックアップ無効
B	自動バックアップ・一時停止 タイミング	自動バックアップのスケジュール変更画面を表示します。 詳細は、「 6-1-1. 自動バックアップ・一時停止タイミング 」をご参照ください。
C	バックアップ先との差分比較	現在のバックアップ先との差分比較設定内容が表示されます。 「変更する」ボタンをクリックすると差分比較設定画面が表示されます。 詳細は、「 6-1-2. バックアップ先との差分比較 」をご参照ください。
D	バックアップ先のフォルダ	バックアップしたファイルを保存する本サービス上のフォルダを表示し、 「変更する」ボタンをクリックすると設定画面が表示されます。 詳細は、「 6-1-3. バックアップ先のフォルダ 」をご参照ください。
E	除外フォルダ・ファイル設定	隠しフォルダ・隠しファイルをバックアップ対象に含めるかを切り替えます。 する: 隠しフォルダもバックアップ対象となる しない: 隠しフォルダはバックアップ対象より除外
F	バックアップするフォルダ	バックアップするお使いの端末上のフォルダを表示します。 「今すぐ実行する」をクリックすると、即時にバックアップが実行されます。 また、「設定削除」ボタンを押すと、一覧より削除されます。
G	フォルダを追加	お使いの端末上のフォルダで自動バックアップ対象とするフォルダを追加します。

! 注意事項

※) ファイル属性における自動バックアップの可否について

バックアップ対象のファイル/フォルダに暗号化属性が付与されている場合、自動バックアップされません。
暗号化属性を解除いただく等ご検討ください。

※) アクセス許可設定における自動バックアップの可否について

バックアップ対象のファイル/フォルダに対して、OSのユーザアカウント（SYSTEM、SYSTEMを含むグループ）にアクセス許可（読み取り）が付与されていない場合、自動バックアップされません。

なお、アクセス許可設定は、エクスプローラーにおいてバックアップ対象のファイル/フォルダを右クリックしプロパティから「セキュリティ」タブにて確認できます。

※) ネットワークドライブ割当てされたフォルダをバックアップ元に設定する場合

ドライブ割当て時に使用したユーザ名とパスワードをして入力してください。

※バックアップ元の設定前に、エクスプローラから対象のフォルダにアクセスできることを確認してください。

1. バックアップ設定

1) 自動バックアップ・一時停止タイミング

自動バックアップを行う周期と一時停止する期間の設定を行います。

バックアップ設定/自動バックアップ・一時停止タイミング

自動バックアップするタイミングを設定してください。

【A】 ☒ 毎日実行する

【B】 ☐ 曜日を指定して実行する

☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 ☐ 日

【C】 実行時間 時 分

☐ 一時停止期間を設定する

一時停止期間(開始) 時 分

一時停止期間(終了) 時 分

※ご指定の時間にパソコンの電源がOFFだった場合、次回パソコンを立ち上げ時に、自動バックアップが行なわれなかった旨の通知が表示されます。

【D】

自動バックアップの周期を指定します。
【A】毎日実行する、または【B】曜日を指定して実行するのいずれかを選択し、曜日指定の場合には実行する曜日を指定してください。

【C】バックアップ実行時刻を選択し、
【D】保存するをクリックします。

自動バックアップが実行中でも一時停止する期間を設定可能です。
一時停止期間を設定するにチェックし、期間を設定してください。

！ 注意事項

※) 端末の状態における自動バックアップの可否について

- ・お使いの端末の設定がスリープ、休止状態、電源断状態になっている場合、自動バックアップを設定した時間であっても自動バックアップは実行されません。自動バックアップは、端末が起動状態の時のみ実行されます。

自動バックアップを実行される際は、スリープや休止状態の設定を解除のうえご利用ください。

※) 本ツールの状態における自動バックアップの可否について

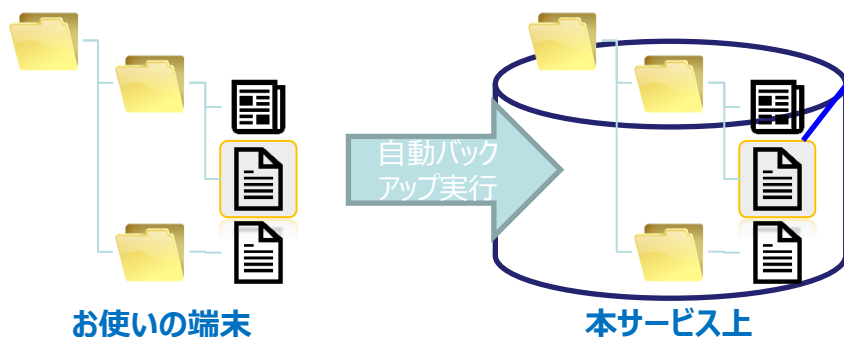
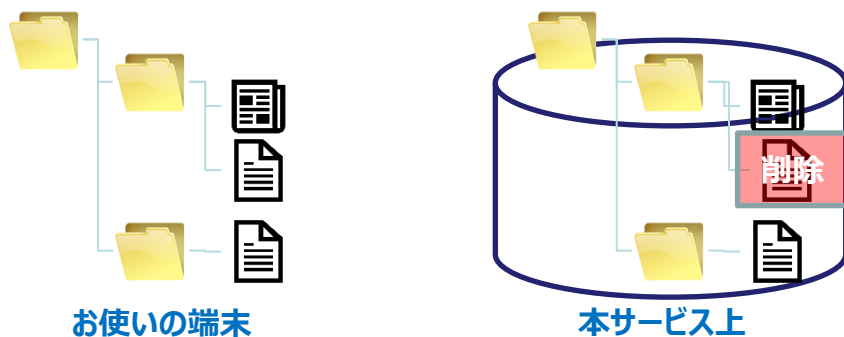
- ・本ツールを本サービスからログアウトすると自動バックアップは実行されません。自動バックアップを実行される際は、本サービスにログインした状態でご利用ください。

1. バックアップ設定

2) バックアップ先との差分比較

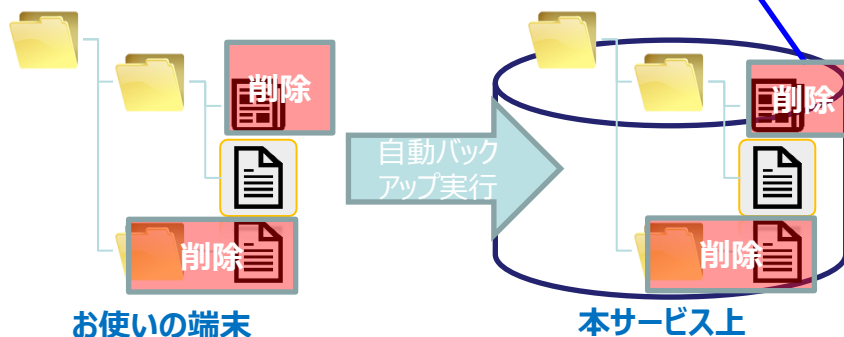
本サービス上のファイル／フォルダとお使いの端末のファイル／フォルダで差分を比較し、実行する処理を設定します。

<差分比較アップロード>



本サービス上で削除されたファイルがある場合、**お使いの端末の更新有無に関わらず、ファイルをバックアップするかを選択可能**
また、「バックアップ元の端末」で、更新のあったファイルを自動バックアップします。

<差分比較削除>



「バックアップ元の端末」で、更新のあったファイルを自動バックアップし、**削除されたファイル／フォルダは削除するか選択可能**なります。

※一度バックアップされたフォルダ・ファイルにおいて、2回目以降のバックアップ前にアクセス権が無くなった場合、該当のフォルダ・ファイルは、削除されます。

1. バックアップ設定

2) バックアップ先との差分比較

差分比較の実行有無を設定し、「保存する」をクリックしてください。

※本設定で「する」を選択した場合、本サービス上の状態を確認するため、処理に時間がかかります。

※大量のファイルの自動バックアップにおいて、本設定で「する」を選択した場合、

メモリ不足が発生する可能性があります。

その場合は、バックアップ元フォルダを分割して、再設定してください。

バックアップ/バックアップ先との差分比較

差分比較の実行有無、またタイミングを設定してください。

差分比較アップロード

バックアップ先にファイルが存在しない場合アップロード

☐ しない

差分比較削除

バックアップ先にファイルが存在しない場合削除

☐ しない

削除タイミング

☒ 自動バックアップごと

☐ 月一回

※ 月一回を指定した場合、その月の初回自動バックアップ時に削除を実行します。

戻る

保存する

1. バックアップ設定

3) バックアップ先フォルダの変更

バックアップ先フォルダの変更を行います。
任意のフォルダ名を入力し、「保存する」をクリックしてください。

バックアップ設定/バックアップ先のフォルダ

バックアップ先のフォルダ名を入力してください。

6 設定

1. バックアップ設定

4) 除外フォルダ・ファイル設定

自動バックアップから除外するフォルダやファイルの設定を行います。

代表的な拡張子の場合は、各拡張子をチェックをし、それ以外の拡張子は、手動入力してください。
※複数ある場合は、「,」（半角コンマ）で区切ってください。

また、隠しフォルダ・隠しファイルをバックアップ対象に含めるかを切り替えます。

する: 隠しフォルダもバックアップ対象となる

しない: 隠しフォルダはバックアップ対象より除外

バックアップ設定/除外フォルダ・ファイル設定

除外ファイル拡張子の設定、また隠しフォルダ・ファイルも対象有無を設定してください。

自動バックアップ除外ファイル拡張子指定

<input type="checkbox"/> xls	<input type="checkbox"/> xlsx	<input type="checkbox"/> doc	<input type="checkbox"/> docx	<input type="checkbox"/> ppt	<input type="checkbox"/> pptx
<input type="checkbox"/> txt	<input type="checkbox"/> csv	<input type="checkbox"/> pdf			
<input type="checkbox"/> jpg	<input type="checkbox"/> png	<input type="checkbox"/> mp4	<input type="checkbox"/> avi		

自動バックアップ除外ファイル拡張子設定（手動入力）

※複数ある場合は「,」（半角コンマ）で区切ってください。

例) html,psd

隠しフォルダ・ファイルのバックアップ



しない

戻る

保存する

6 設定

2. お知らせ通知設定

設定画面の左メニューのお知らせ通知設定をクリックすると、各お知らせ通知の設定が可能です。

◎画面の各項目について

設定

バックアップ設定

お知らせ通知設定

ツール設定

A

サービス利用状況の通知

※毎月月初に利用状況（ご契約のプラン、利用容量、空き容量）をご案内します。

する

B

自動バックアップ結果の通知

自動バックアップ結果をメール送信設定したメールアドレス宛にメール通知します。
なお、すべて正常に完了した場合には通知されません。

しない

メール通知未設定

設定する

C

警告表示の非表示リセット

「次回から表示しない」で非表示とした警告表示を再び表示させます。

リセットする

記号	名称	機能	参照先
A	サービス利用状況の通知	本サービスの利用状況の通知設定を行います。 サービス利用状況の通知機能のする・しないを選択してください。	—
B	自動バックアップ結果の通知	自動バックアップ結果の通知設定により、自動バックアップエラー発生時、任意のメールアドレス宛（2つまで）に結果通知することが可能となります。 また、通知単位の設定を、「バックアップ元フォルダごとに通知」か「すべてのバックアップ元フォルダの自動バックアップが完了後1通だけ通知」を選択可能となります。	「 6-2-1. 自動バックアップ結果の通知設定 」ご参照ください。
C	警告表示の設定	これまで本ツールから表示された警告メッセージで、「 次回から表示しない 」で非表示とした警告を再び表示することが可能です。	—

2. お知らせ通知設定

1) 自動バックアップ結果の通知

自動バックアップ結果の通知設定により、自動バックアップエラー発生時、任意のメールアドレス宛（2つまで）に結果通知することが可能となります。必要な情報を入力し、「テストメール送信する」をクリックしてください。

お知らせ通知設定/メール送信設定

メール送信を行うための情報を設定してください。

必須 送信サーバー

SMTPサーバー名を入力してください

必須 ユーザー

SMTPユーザー名を入力してください

必須 パスワード

SMTPパスワードを入力してください

必須 送信元アドレス

必須 送信先アドレス1

送信先アドレス2

必須 ポート番号

0

SSL

☐ オフ

戻る テストメールを送信する 保存する

★ 設定例

お知らせ通知設定/メール送信設定

メール送信を行うための情報を設定してください。

必須 送信サーバー

smtp-mail.outlook.com

必須 ユーザー

kk.moz@outlook.jp

必須 パスワード

●●●●●●●●

必須 送信元アドレス

kk.moz@outlook.jp

必須 送信先アドレス1

kk.moz@outlook.jp

送信先アドレス2

必須 ポート番号

587

SSL

☒ オン

戻る

テストメールを送信する

設定完了



注意事項

※) メールアドレスについて

- 個人アカウントのメールアドレスは、セキュリティ上の観点から使用できません。法人アカウントのメールアドレスをご利用ください。
- 一度設定完了した場合でもメールサービス側の仕様変更等により、自動バックアップ失敗時の結果通知メールが送信されない場合があります。

メールが届かない場合は、ツール起動状態であればエラー表示されるため、本画面での再設定をお願いします。

3. ツール設定

本ツールの自動アップデートとログ出力レベルの設定をします

◎画面の各項目について

設定

バックアップ設定

お知らせ通知設定

ツール設定

A ツール自動アップデート設定
自動バックアップ中（実行中、待機中、一時停止中）の場合、自動バックアップ終了後アップデートを行います。
☒ オン

B ログ出力レベル設定
トラブルが発生した場合、調査のためログ出力レベルをトラブル対応用に切り替えて頂く場合がございます。
☒ 通常用

C プロキシ設定

記号	名称	機能
A	ツール自動アップデート設定	本ツールの新バージョンがある場合に、自動的にアップデートする設定が可能となります。 ※新バージョンがある場合、自動バックアップ中は実行されず、自動バックアップ終了後に自動アップデートを実行します。
B	ログ出力レベル設定	ログ出力レベル設定が可能です。 ※トラブル発生時に、調査を依頼させていただきとき以外は、「通常用」に設定してください。
C	プロキシ設定	プロキシ設定が可能です。

1. バックアップ履歴

1 履歴一覧画面

本ツールを使用してバックアップした履歴を、バックアップ元フォルダごとに表示します。

◎画面の各項目について



記号	名称	機能
A	No.	直近の自動バックアップ履歴が降順で表示されます。 「- (ハイフン)」以降の枝番は、複数バックアップ元フォルダが設定されている場合に、同じ自動バックアップタイミングで実行されたことを表します。 <例>：バックアップ元に3つ（フォルダA、フォルダB、フォルダC）設定して、自動バックアップを実施した場合、以下のように降順で履歴が表示されます。 000001-2：フォルダCの結果を表します。 000001-1：フォルダBの結果を表します。 000001-0：フォルダAの結果を表します。
B	開始日時	バックアップ開始日時が表示されます。
C	終了日時	バックアップ終了日時が表示されます。（未完了の場合は空欄です）
D	バックアップ元	バックアップ元となるお使いの端末上のフォルダが表示されます。
E	ファイル数	バックアップされたファイル数の合計が表示されます。
F	容量	バックアップされたファイルの合計容量が表示されます。
G	ステータス	バックアップのステータス・バックアップ結果が表示されます。 表示されるステータス・バックアップ結果は下記の通りです。 実行中：バックアップが実行中の状態 完了：対象のファイルがすべてバックアップされた状態 ※前回のバックアップからファイルに差分が無かった場合「完了」となります。 ※以降の完了以外ステータスについては、次ページにて原因と対処方法を記載します。 未実行：次ページ参照 未完了：次ページ参照
H	詳細	バックアップの履歴詳細画面を表示します。
I	ページ	バックアップ履歴が100件を超える場合、ページが増えます。 確認したいページ数を入力することが可能です。
J	ヘルプ（ご利用ガイド）	ご利用ガイドのダウンロード先を表示します。

1. バックアップ履歴

1 履歴一覧画面

自動バックアップ結果の完了以外のステータスについて、原因と対処方法を以下に記します。

ステータス	原因	対処方法
未実行	本サービスにログインしていなかった	ログイン状態にしてください
	本ツールをインストールしているPCがスリープ、休止、シャットダウンしていた	自動バックアップ周期設定時刻にPCを起動（アクティブ）状態にしておいてください
	「中断」を行った場合、以降のバックアップ対象も中断され、未実行となります	必要な場合以外は中断しないでください
未完了 (設定内容不正)	自動バックアップ開始前にバックアップ元またはバックアップ先フォルダが削除またはリネームした	自動バックアップ周期設定時に指定したフォルダを、削除、リネームした場合バックアップ設定をし直してください
未完了 (アクセス不可)	バックアップ元のファイル・フォルダに権限が無い、または、別アプリケーションがファイルを排他アクセス状態で開いていた	バックアップ元のフォルダには権限を付与していただき、別アプリケーションからは極力開いていない状態にしておいてください
	バックアップ対象のファイル/フォルダに暗号化属性が付与されている	暗号化属性を解除いただく等ご検討ください
	バックアップ対象のファイル/フォルダに対して、OSのユーザアカウント（SYSTEM、SYSTEMを含むグループ）にアクセス許可（読み取り）が付与されていない	バックアップ対象のファイル/フォルダにOSのユーザアカウント（SYSTEM、SYSTEMを含むグループ）にアクセス許可（読み取り）を付与してください
未完了 (NDアクセス不可)	バックアップ元に設定したネットワークドライブに接続できない、または、ドライブに対する認証用のID、パスワードが変更された	該当のバックアップ元フォルダの再設定を実施してください
未完了 (禁止文字検出)	禁止文字(※)を含んだファイル／フォルダ名のバックアップを行った ※禁止文字は、¥ / : * ? " < > および先頭が、(ピリオド) のフォルダ名	バックアップ元のファイル／フォルダ名に使用している禁止文字は別の文字に変更してください
未完了 (容量不足)	バックアップ実行中に契約容量の上限に達した	不要なファイルを削除するか、または容量プランを変更してください
未完了 (通信エラー)	バックアップ実行中に通信に問題が発生した	<ul style="list-style-type: none"> ・自動バックアップの時間帯に通信が不通になることがないか確認してください ・セキュリティソフトのスキャンと自動バックアップの時間が重複していないか確認してください ・UTMを導入している場合、ホワイトリストまたはブラックリストの記載が適切か確認してください

1. バックアップ履歴

1 履歴一覧画面

ステータス	原因	対処方法
未完了 (メモリ不足)	バックアップ実行中に端末内のメモリが枯渇した	自動バックアップ設定の「バックアップするフォルダ」に指定したフォルダに格納されているファイルの数が100万（ファイルパス244文字が目安）を超えないように、「バックアップするフォルダ」を小分けにして指定してください
未完了 (パス長超過)	バックアップ元フォルダ内に260文字を超えるパス長のフォルダ・ファイルが存在した	該当のフォルダ・ファイルは、リネーム等していただき、260文字を超えないようにしてください
未完了 (中断)	バックアップの実行中に、処理をバックアップ設定画面から手動で中断した	バックアップ実行中は、中断しないでください
未完了 (電源断による中断)	バックアップ中にPCの電源断、または再起動等によりバックアップのプロセスが強制中断された	バックアップの時間帯は、PCが電源断や再起動等をしないようにしてください。
未完了 (ファイルサイズ超過)	バックアップ対象ファイルに30GBを超えるファイルが存在した	30GBを超えるファイルはバックアップ対象から除外してください
未完了 (端末認証制限中)	端末認証でのセキュリティフォルダアクセス制限中に端末認証によるバックアップを実施した	セキュリティフォルダへのアクセスが制限されているため、バックアップを中断しました。 ご契約者（管理者）へお問い合わせください
未完了 (フォルダ作成失敗)	バックアップ中にバックアップ対象フォルダまたは、バックアップ先フォルダが存在しなくなった	自動バックアップ開始から終了までの間、バックアップ元/先フォルダには可能な限りアクセスしないでください
未完了 (不慮の事態)	自動バックアップ中にファイルの更新がかかるような操作(※)をされた (※ファイルの保存処理や、他のアプリケーションで該当ファイルを開いている)	自動バックアップ開始から終了までの間、バックアップ元のファイル・フォルダにはアクセスしないでください ※
	自動バックアップ開始から終了までの間に、バックアップ対象のファイルの名前変更／削除／移動を行った	自動バックアップ開始から終了までの間、バックアップ元/先のファイルには可能な限りアクセスしないでください ※
未完了 (複数エラー発生)	未完了のステータスが複数混在した	履歴一覧画面から該当の詳細画面を開き、上記それぞれの原因、対処方法を確認してください

※本事象は、該当のファイルのみがバックアップされなかった状態であり、他のファイルはバックアップされます。
また、該当のファイルは、次回の自動バックアップでバックアップされます。

7 履歴

1. バックアップ履歴

2 履歴詳細画面

本ツールを使用してバックアップした履歴を表示します。

◎画面の各項目について

The screenshot displays the backup history detail screen. The left panel shows a list of items with labels A through G. The right panel shows detailed information for item No. 000001-0 with labels H through L. A pink arrow points from the left panel to the right panel with the text '下にスクロール' (Scroll down).

Left Panel:

- A: 000001-0 未完了 (不慮の事態)
- B: ステータス
- C: 開始日時 2021/07/29 12:09:35
- D: 終了日時 2021/07/29 12:10:02
- E: バックアップ元フォルダ C:\Users\Yazuke\Desktop\test\sample3
- F: バックアップ先フォルダ G:\セキュリティフォルダ\DESKTOP-QMQ0RVJ
- G: ファイル数 21

Right Panel:

- No. 000001-0 未完了 (不慮の事態)
- H: ファイル数 21
- I: 容量 32.1KB
- J: 削除ファイル容量 0B
- K: ステータス
完了 : 1ファイル
差分なし : 15ファイル
削除ファイル数 : 0ファイル
未完了 : 5ファイル
- L: エラー情報

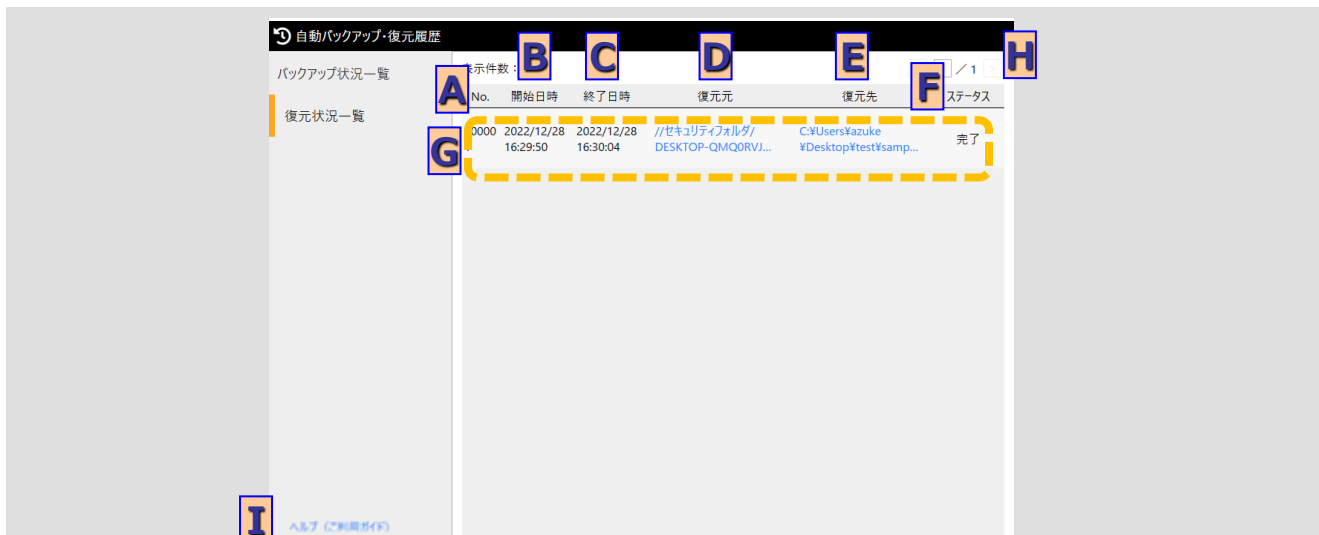
記号	名称	機能
A	No.	バックアップ状況一覧表示時のNo.で表示されます。
B	ステータス	バックアップ実行中は、処理が完了したファイル情報が表示されます。 進捗状況は、タスクトレイからアイコンを左クリックにて確認いただけます。 バックアップ処理完了後は、バックアップ全体のステータスが表示されます。 ※ステータスは一覧画面のステータスをご参照ください。
C	開始日時	バックアップ開始日時が表示されます。
D	終了日時	バックアップ終了日時が表示されます。 (未完了の場合は空欄です)
E	バックアップ元フォルダ	バックアップ元となるお使いの端末上のフォルダが表示されます。
F	バックアップ先フォルダ	バックアップ先となる本サービス上のフォルダが表示されます。
G	ファイル数	バックアップされたファイル数の合計が表示されます。
H	容量	バックアップされたファイルの合計容量が表示されます。
I	削除ファイル容量	差分比較削除を実施した場合の削除したファイルの合計容量が表示されます。
J	ステータス	下記が表示されます。 完了：バックアップが完了ファイル数 差分なし：2回目以降のバックアップで、差分がなくバックアップしなかったファイル数 削除ファイル数：差分比較削除を実施した場合、削除が実行されたファイル数
K	エラー情報を出力する	バックアップにエラーがあった場合、ファイル単位のエラー情報をcsv出力します。
L	戻る	バックアップ状況一覧画面に戻ります。

2. 復元履歴

1 履歴一覧画面

本ツールを使用して復元した履歴を表示します。

◎画面の各項目について



記号	名称	機能
A	No.	復元状況一覧表示時の直近の履歴を降順で表示されます。
B	開始日時	復元開始日時が表示されます。
C	終了日時	復元終了日時が表示されます。
D	復元元	復元元となる本サービス上のフォルダが表示されます。
E	復元先	復元先となるお使いの端末のフォルダが表示されます。
F	ステータス	<p>ステータス・結果が表示されます。</p> <p>表示されるステータス・結果は下記の通りです。</p> <p>実行中：復元が実行中の状態</p> <p>完了：対象のファイルがすべて復元された状態</p> <p>未完了（アクセス不可）</p> <p>未完了（設定内容不正）</p> <p>未完了（通信エラー）</p> <p>未完了（メモリ不足）</p> <p>未完了（不慮の事態）</p> <p>未完了（パス長超過）</p> <p>未完了（NDアクセス不可）</p> <p>未完了（中断）</p>
G	詳細	履歴詳細画面を表示します。
H	ページ	履歴が100件を超える場合、ページが増えます。確認したいページ数を入力することが可能です。
I	ヘルプ（ご利用ガイド）	ご利用ガイドのダウンロード先を表示します。

2. 復元履歴

2 履歴詳細画面

本ツールを使用して復元した履歴詳細を表示します。

◎画面の各項目について

The screenshot shows a web interface for restoration history details. On the left, there are callout boxes labeled A through I. The main content area displays the following information:

- A** No. 000001 完了 **B**
- C** 開始日時
2022/12/28 16:29:50
- D** 終了日時
2022/12/28 16:30:04
- E** 復元元
//セキュリティフォルダ/DESKTOP-QMQ0RVJ/sample300
- F** 復元先
C:\Users\azuke\Desktop\test\sample2\新しいフォルダー
- G** 復元ファイル数
22
- H** ステータス
完了 : 22ファイル
- I** 戻る

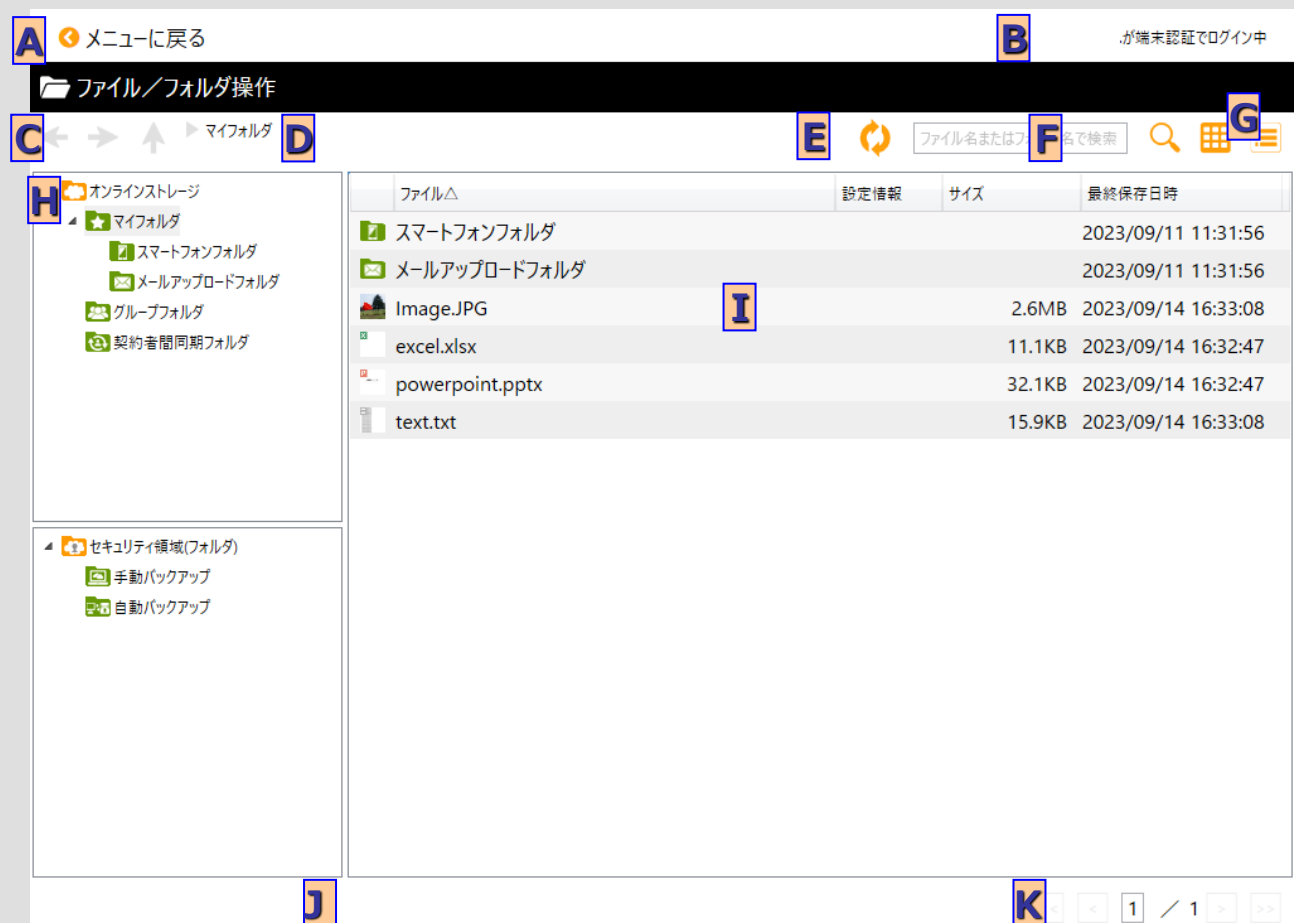
On the right side of the form, there is a vertical pink arrow pointing downwards with the text "下にスクロール" (Scroll down). At the bottom right of the form, it says "エラー情報出力ファイル形式: csv".

記号	名称	機能
A	No.	復元状況一覧表示時のNo.で表示されます。
B	ステータス	進捗状況は、タスクトレイからアイコンを左クリックにて確認いただけます。 復元全体のステータスが表示されます。
C	開始日時	復元開始日時が表示されます。
D	終了日時	復元終了日時が表示されます。
E	復元元	復元元となる本サービス上のフォルダが表示されます。
F	復元先	復元先となるお使いの端末のフォルダが表示されます。
G	復元ファイル数	復元されたファイル数の合計が表示されます。
H	ステータス	ステータスごとのファイル数が表示されます。
I	戻る	復元状況一覧画面に戻ります。

8 ファイル/フォルダ操作

ファイルフォルダ操作画面について説明します。

◎ 画面の各項目について



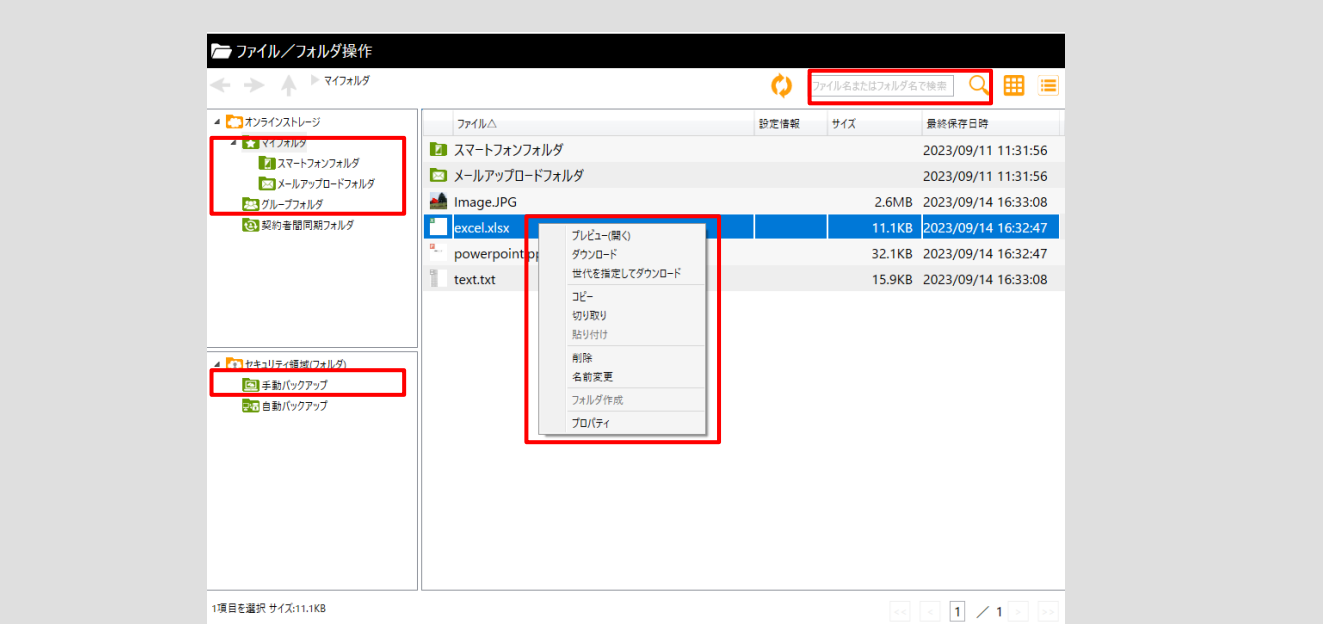
記号	名称	機能
A	メニューに戻る	メインメニューに戻ります。
B	ログイン状態	ログインしているニックネームおよび、認証モードを表示します。
C	戻る／進む／上へ	矢印操作により、表示しているフォルダ階層を移動します。
D	フォルダパス（階層）	リストエリアに表示している階層を表します。 表示したいフォルダ名をクリックすることで、該当のフォルダへ遷移可能です。
E	更新	リストエリアに表示している内容を更新します。
F	検索窓＋検索	リストエリアに表示しているフォルダ内を検索します。
G	表示切替	表示形式をアイコン表示とリスト表示へ切替え可能です。
H	ツリーエリア	フォルダ構成がツリー形式で表示されます。
I	リストエリア	ツリーエリアで選択しているフォルダの情報（※）が表示されます。 ※ファイル名／設定情報／サイズ／保存日時 尚、1ページにつき100件まで表示されます。
J	ステータス	処理中の状況や選択している項目数が表示されます。
K	ページ切替	ボタンクリックにより、ページの移動が可能です。 また、参照したいページを入力することで、入力したページを表示できます。

8 ファイル/フォルダ操作

1. オンラインストレージ領域およびセキュリティ領域（手動バックアップ）内での操作

アップロード操作およびバックアップしたデータに対して下記の操作が可能です。

◎画面の各項目について



機能	操作対象（キーボード）	操作対象（マウス）
ファイル／フォルダ選択	Ctrl（＋A）、Shift	キーボード操作＋クリック、ドラッグ
コピー／切り取り／貼り付け	ツール上で、Ctrl＋Cまたは、Ctrl＋Xした後、Ctrl＋V	右クリックメニュー
名前変更	－	右クリックメニュー
削除	－	右クリックメニュー
プロパティ	－	右クリックメニュー
フォルダ作成	－	右クリックメニュー
アップロード	ローカル側でCtrl＋CまたはCtrl＋Xした後、ツール上でCtrl＋V	右クリックメニュー、ドラッグ＆ドロップ
ダウンロード	－	右クリックメニュー
世代を指定してダウンロード	－	右クリックメニュー
更新	F5キー	更新ボタンクリック
プレビュー	－	右クリックメニュー （最大10ファイルのプレビューが可能です。）
検索	文字入力＋検索ボタン押下	－

8 ファイル/フォルダ操作

1. オンラインストレージ領域およびセキュリティ領域（手動バックアップ）内での操作

！ 注意事項

■コピー時の注意事項

ファイル/フォルダを「コピー」後に「貼り付け」実行時、
コピー先に同名のファイル/フォルダが存在している場合、以下メッセージが表示されます。
「上書きコピー」、「別名コピー」、「コピーしない」を各ファイルで選択してください。

※他のファイル/フォルダでコピー先に同名のファイル/フォルダが存在する場合に、
同じ処理を適用する場合は、「同処理を他のファイル/フォルダにも適用する」に
チェックを入れてください。

同名ファイル/フォルダコピー 確認

以下のファイル/フォルダのコピー先に同名ファイル/フォルダが存在しています。

コピー先	//マイフォルダ
対象ファイル/フォルダ	Image.JPG

☐ 同名ファイルは、上書きでコピーする

☐ 同名ファイルは、別名でコピーする

☐ 同名ファイルは、コピーしない

☐ 同処理を他のファイル/フォルダにも適用する

一度にコピーするファイル数に応じて時間がかかります。コピー中は他の操作はできませんのでご注意ください。
[例]1,000ファイルの場合：約1時間程度、5,000ファイルの場合：約5時間程度の時間がかかります。

戻るOK

！ 注意事項

■セキュリティ領域（手動バックアップ）内では、ログインユーザ配下のフォルダのみ検索可能となります。

例 1：管理者でログイン時

手動バックアップ/管理者フォルダ/……検索可能

手動バックアップ/利用者フォルダA/……検索不可

例 2：利用者Aでログイン時

手動バックアップ/管理者フォルダ……検索不可(管理者フォルダ非表示)

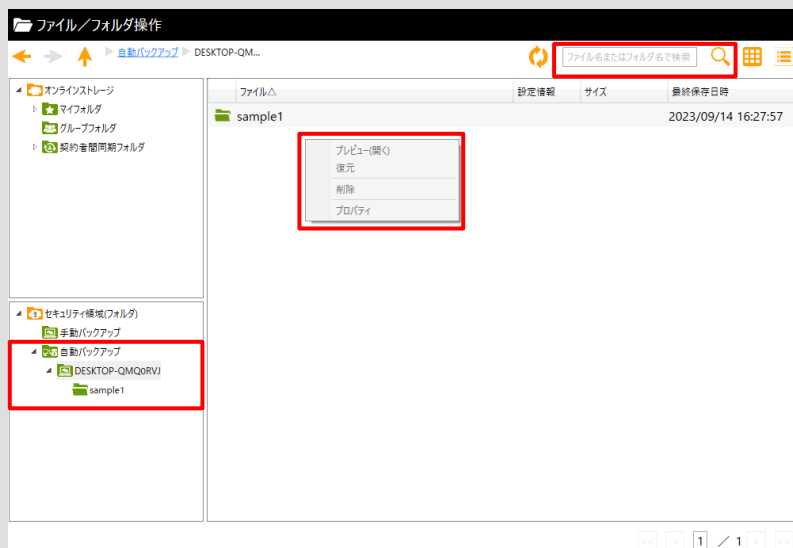
手動バックアップ/利用者フォルダA……検索可能

8 ファイル/フォルダ操作

2. セキュリティ領域（自動バックアップ）フォルダ内でのファイルフォルダ操作

バックアップしたデータに対して下記の操作が可能です。

◎画面の各項目について

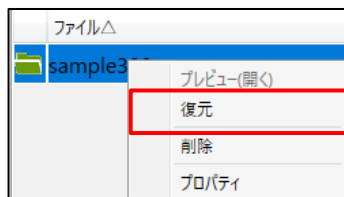


機能	操作（マウス）	参照先
プレビュー	右クリックメニュー （最大10ファイルのプレビューが可能です。）	—
復元	右クリックメニュー	「 8-2-1.復元 」
削除	右クリックメニュー	「 8-2-2.削除 」
プロパティ	右クリックメニュー	—
検索	文字入力＋検索ボタン押下	—

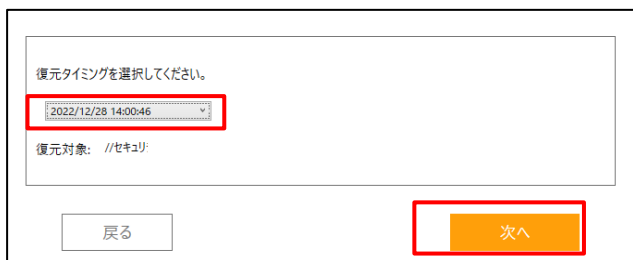
8 ファイル/フォルダ操作

2. セキュリティ領域（自動バックアップ）フォルダ内でのファイルフォルダ操作 1) 復元

下記操作により、バックアップしたデータの復元が可能です。

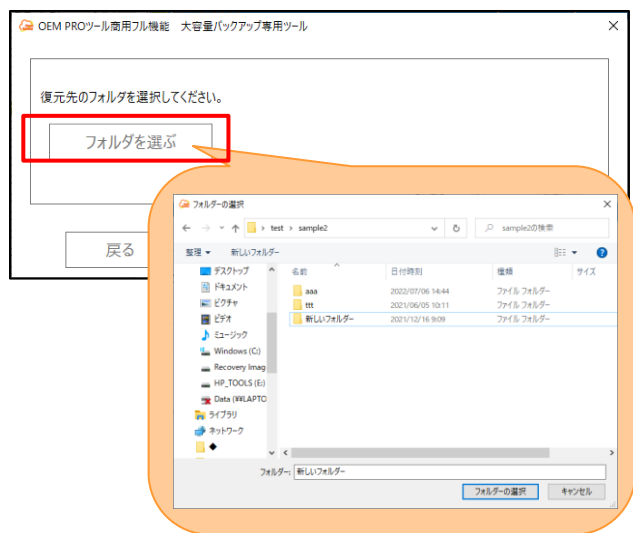


ファイルまたはフォルダを選択し、右クリックメニューから「復元」を選択してください。



復元タイミングを選択して「次へ」をクリックしてください。

※復元タイミングの表示には時間がかかりますことがあります。



「フォルダを選ぶ」をクリックし、表示されたダイアログで復元先のフォルダを選択してください。

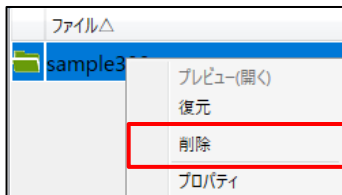


「復元する」をクリックし、復元を実行してください。

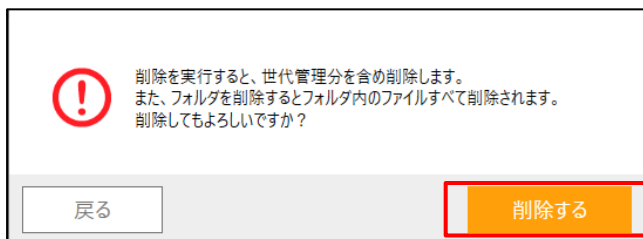
8 ファイル/フォルダ操作

2. セキュリティ領域（自動バックアップ）フォルダ内でのファイルフォルダ操作 2) 削除

下記操作により、バックアップしたデータの削除が可能です。



ファイルまたはフォルダを選択し、右クリックメニューから「削除」を選択してください。

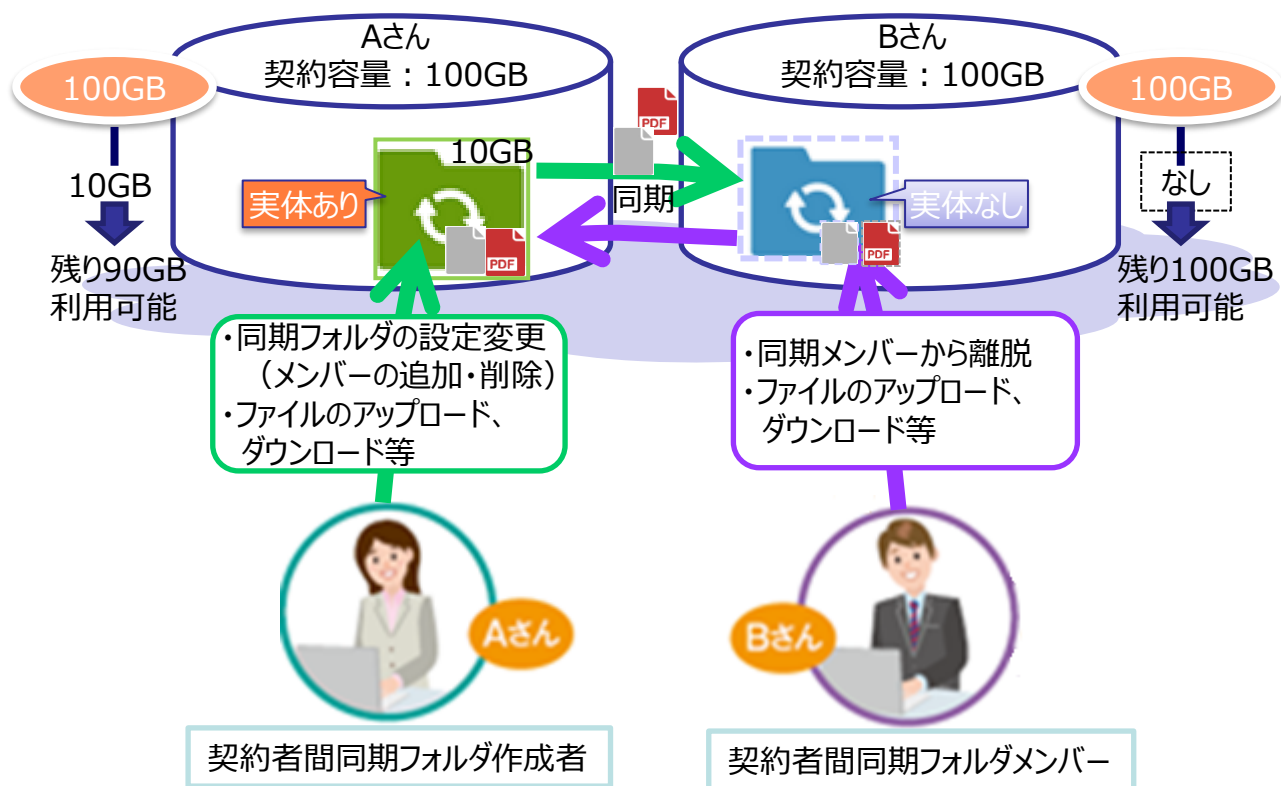


削除確認ダイアログにおいて、「削除する」をクリックしてください。

8 ファイル/フォルダ操作

3. 契約者間同期フォルダ機能

契約者間同期フォルダを使用することで、他の契約者の方とファイルを共有することが可能です。



- 契約者間同期フォルダ内に作成した同期フォルダ内にファイルを配置した時点で、同期フォルダの作成者（Aさん）ならびにメンバー（Bさん）に即時にファイルが同期されます。
※メンバーが複数人の場合も、即時にファイルが同期されます。
- 本サービス内の容量は、作成者（Aさん）のみ使用され、メンバー（Bさん）の容量は使用されません。
- 1つの同期フォルダに、作成者含め、メンバーを5000名まで設定可能です。
- 同期フォルダは、ご自身が作成した同期フォルダとメンバーである同期フォルダあわせて5000個までとなります。
- 同期フォルダ自体に実施できる操作、ならびに同期フォルダ内で実施できるフォルダ／ファイル操作は、次ページ以降を参照ください。

8 ファイル/フォルダ操作

3. 契約者間同期フォルダ機能

◎同期フォルダに対する操作

機能名	機能概要	作成者 ※	メンバー
新規作成	同期フォルダを新規作成する機能	○	-
設定変更	同期フォルダの設定変更する機能	○	×
削除	同期フォルダを新規削除する機能	○	×
詳細表示	同期フォルダの詳細情報を表示する機能	○	○
メンバーから離脱	同期フォルダのメンバーから離脱する機能	×	○

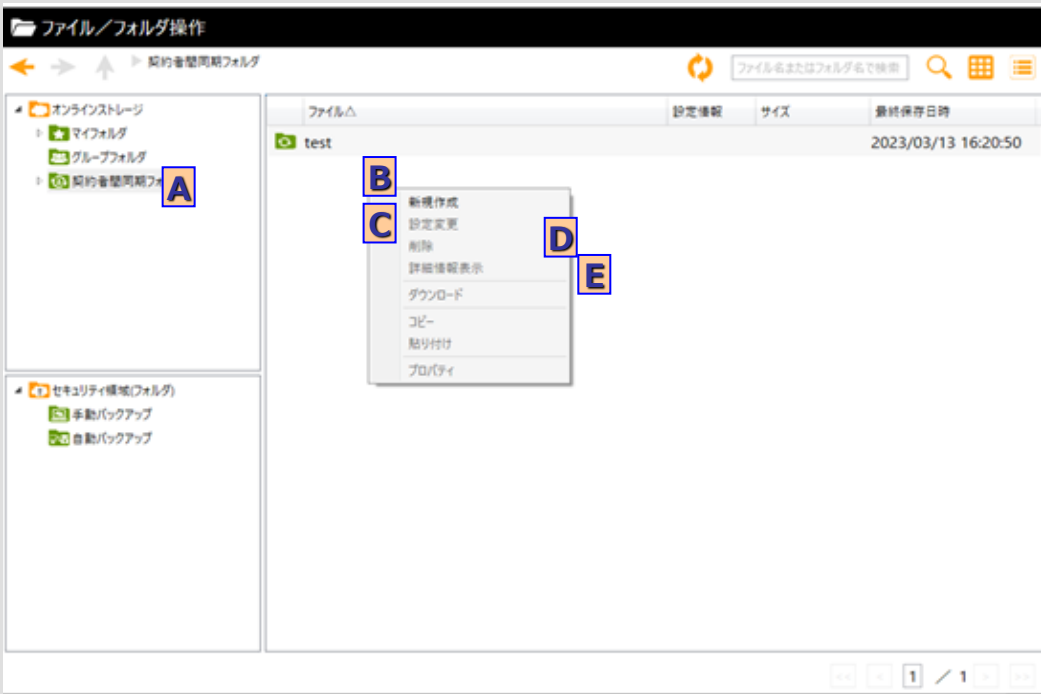
※「作成者」は管理者のみとなります。



（管理者とは、ご契約につき1 ID（ご契約者様のID）となります。）

8 ファイル/フォルダ操作

3. 契約者間同期フォルダ機能

◎画面の各項目について



記号	名称	機能
A	同期フォルダ一覧	<p>ツリー上の「契約者間同期フォルダ」をクリックするとフォルダが一覧で表示されます。 クリックすると、表示されている名前の同期フォルダに移動します。</p> <div></div> <p>◆ご自身が作成者の同期フォルダ ◆メンバーとなっている同期フォルダ</p>
B	新規作成	<p>同期フォルダを新規作成します。 新規同期フォルダ作成画面を表示します。 ※管理者のみ利用可能です。</p>
C	設定変更	<p>同期フォルダの設定を変更します。 同期フォルダ設定変更画面を表示します。 ※同期フォルダ作成者のみ実施可能です。</p>
D	削除	<p>同期フォルダを削除します。 同期フォルダ削除確認画面を表示します。 ※同期フォルダ作成者のみ実施可能です。</p>
E	詳細情報表示	<p>同期フォルダの詳細画面を表示します。 ※メンバーが同期フォルダから離脱したい場合に、クリックします。</p>

8 ファイル/フォルダ操作

3. 契約者間同期フォルダ機能

1) 新規作成

同期フォルダを新規作成します。
作成後、同期フォルダのメンバーにメール通知がされ、即時に同期フォルダのメンバーと同期が開始されます。

◎画面の各項目について

新規同期フォルダ作成

※同期フォルダ作成直後に、メンバーに指定した他のお客様（管理者ID、利用者ID）と同期状態となります。

※お客様がストレージサービスを解約された場合、お客様が作成された同期フォルダがすべて削除され、同時にその配下のすべてのファイルが削除されます。

また、各同期フォルダのメンバーが同期フォルダを参照できなくなりますので、ご注意ください。

A同期フォルダ名 必須

255文字以内
使用不可文字(＼/:*?<>|)
フォルダの先頭に()は使用できません。

B容量の上限設定 必須

設定する

設定しない

Cメンバー 必須

新規に登録

履歴から選択

ログインID

メールアドレス

削除

Dメッセージ

E戻る

F次へ

記号	名称	機能
A	同期フォルダ名	同期フォルダ名を設定します。
B	容量の上限設定	容量の上限設定を設定する／設定しないの設定を行います。 「設定する」を選択した場合、容量の上限を入力可能となります。 ※1GBは1024MBとなります。 ※容量の上限値を設定しても、空き容量以上に利用できません。
C	メンバー	同期フォルダのメンバーの追加または削除が可能です。 ※詳細は、次ページ以降参照
D	メッセージ	同期フォルダのメンバーに伝えたいメッセージを入力します。
E	キャンセル	入力をキャンセルし、画面を閉じます。
F	次へ	確認画面へ遷移した後、「同期フォルダを作成する」で新規作成します。

8 ファイル/フォルダ操作

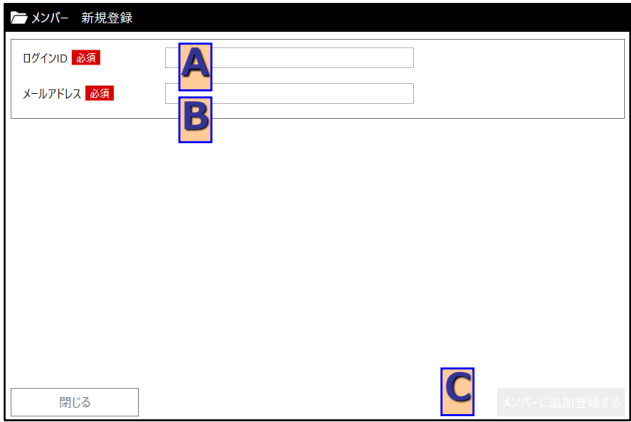
3. 契約者間同期フォルダ機能

1) 新規作成

I. メンバーを新規に追加する場合



「新規に登録」ボタンをクリックします。



メンバー新規登録画面が表示されます。

追加したいご契約者の[A]ログインIDと[B]メールアドレスを入力の上、[C]「メンバーに追加登録する」ボタンをクリックします。

8 ファイル/フォルダ操作

3. 契約者間同期フォルダ機能

1) 新規作成

Ⅱ. メンバーを履歴から追加する場合



メンバー一覧内の「履歴から選択」ボタンをクリックします。



追加したいログインIDにチェックし、「チェックしたログインIDをメンバーに追加する」ボタンをクリックします。

すでに追加されていたログインIDを選択した場合、追加されません。

8 ファイル/フォルダ操作

3. 契約者間同期フォルダ機能

2) 設定変更

同期フォルダ名や容量の上限設定、メンバー追加／削除の編集が行えます。
(編集項目・操作方法は新規作成時と同じです。)

※メンバーを追加する場合、設定変更直後に追加したが同期状態となります。

※メンバーを削除する場合、設定変更直後に削除したメンバーが同期フォルダを参照できなくなります。

◎ 同期フォルダ設定変更画面イメージ



同期フォルダ 設定変更

※メンバーを追加する場合、設定変更直後に追加したメンバーが同期状態となります。
※メンバーを削除する場合、設定変更直後に削除したメンバーが同期フォルダを参照できなくなります。

同期フォルダ名 **必須**
255文字以内
使用不可文字(\ / : * ? " < > |)
フォルダの先頭に()は使用できません。

容量の上限設定 **必須** ☐ 設定する ☒ 設定しない

メンバー **必須**

ログインID	メールアドレス

メッセージ

各項目、入力内容については、「1.新規作成」を参照してください。

8 ファイル/フォルダ操作

3. 契約者間同期フォルダ機能

3) 削除

同期フォルダを削除します。

以下の画面で「同期フォルダを削除する」ボタンをクリックすると同期フォルダが削除されます。

※同期フォルダを削除すると、その配下のすべてのファイルが削除されます。

また、メンバーは同期フォルダを参照できなくなります。

※同期フォルダ削除後、同期フォルダのメンバー全員宛にメール通知が実施されます。

◎同期フォルダ削除確認画面イメージ

同期フォルダ 削除確認

以下の同期フォルダを削除します。

!

処理を実行してよろしいですか？
※同期フォルダを削除すると、その配下のすべてのファイルが削除されます。
また、メンバーは同期フォルダを参照できなくなります。

同期フォルダ名	test
容量の上限設定	設定なし

戻る

同期フォルダを
削除する

8 ファイル/フォルダ操作

3. 契約者間同期フォルダ機能

4) 詳細表示

同期フォルダの詳細表示が確認できます。
同期フォルダ作成者とメンバーで表示内容が異なります。

I. 作成者の場合

同期フォルダの詳細情報、ならびにメンバーのログインID、メールアドレスが確認できます。
「同期フォルダの設定を変更する」をクリックすると、「同期フォルダ設定変更」画面が表示されます。
「同期フォルダを削除する」をクリックすると、「同期フォルダ削除確認」画面が表示されます。

◎ 同期フォルダ詳細画面（作成者）イメージ

同期フォルダ 詳細

同期フォルダ名

test

容量の上限設定

設定なし

作成者のログインID

ntteastfull02

作成者メールアドレス

同期フォルダ作成日時

2023/03/13 16:20

メンバー

ログインID

メールアドレス

メッセージ

戻る

同期フォルダの
設定を変更する

同期フォルダを
削除する

8 ファイル/フォルダ操作

3. 契約者間同期フォルダ機能

4) 詳細表示

Ⅱ. メンバーの場合

同期フォルダの詳細情報、ならびにメンバーのメールアドレスが確認できます。
「離脱する」をクリックすると、同期メンバのメンバから離脱します。

※同期フォルダからメンバー離脱すると、同期フォルダを参照できなくなります。

※メンバー離脱後、同期フォルダの作成者宛にメール通知が実施されます。

◎同期フォルダ詳細画面（メンバー）イメージ

同期フォルダ 詳細

同期フォルダ名

testtest

容量の上限設定

設定なし

作成者のログインID

testb01h

作成者メールアドレス

XXXXXXXXXX@XXXXXX.XXX

同期フォルダ作成日時

2023/03/13 16:42

メンバー

メールアドレス

XXXXXXXXXX@XXXXXX.XXX

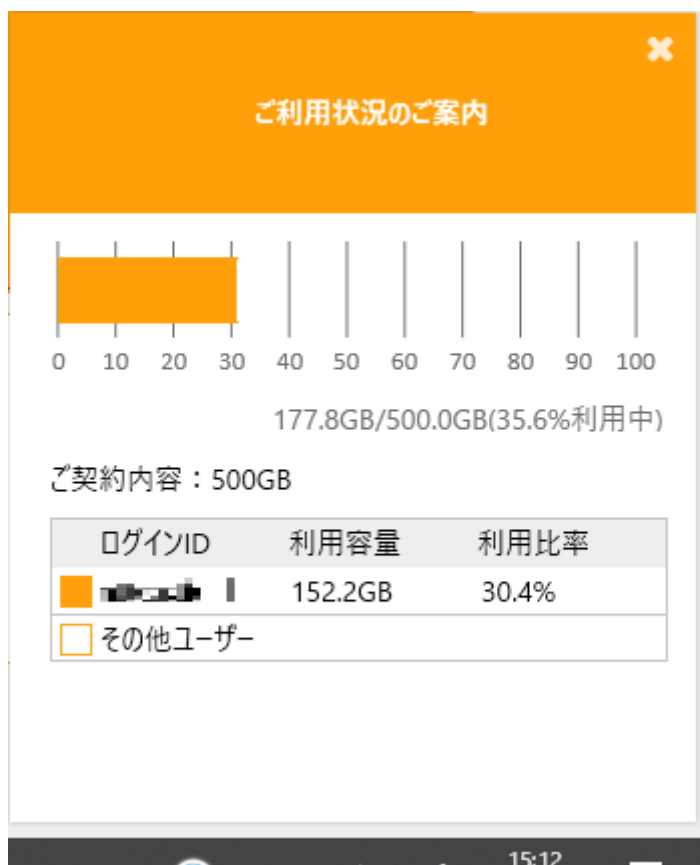
XXXXXXXXXX@XXXXXX.XXX

メッセージ

戻る

メンバーから離脱する

本サービスの利用状況が表示されます。



10 このツールについて

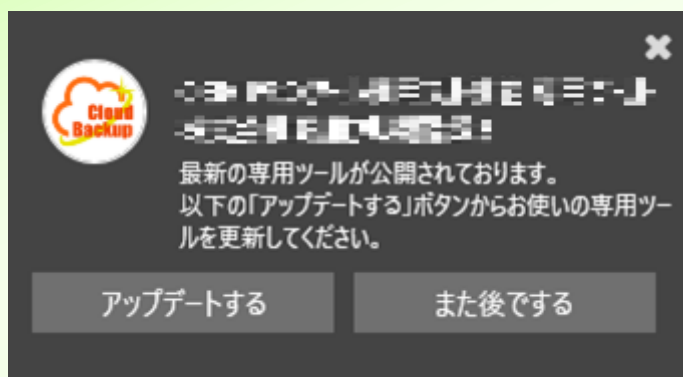
現在お使いの本ツールのバージョン確認と、本サービスの注意事項、本ツールの利用規約が確認できます。また、最新バージョンがあれば、アップデートが可能です。



お役立ち情報

★本ツールのバージョンアップ通知

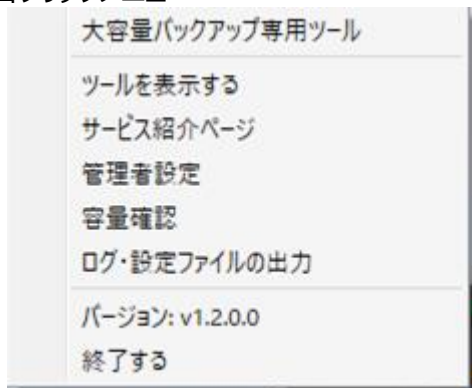
1時間に一回、新バージョンのチェックを実施し、新バージョンがある場合は、下記の通知が表示され、手動でのアップデートが可能です。



11 タスクトレイについて

タスクトレイ上の本サービスアイコンに対して、右クリック、または左クリックした場合、以下の内容が確認できます。

■ 右クリックメニュー



■ 左クリック

<自動バックアップ中（自動バックアップ状況）>



※自動バックアップ中に通信エラー等でバックアップに失敗したファイルは、自動バックアップ対象ファイルがすべて処理されたあとにバックアップの再実行をします。

その場合、進捗率や残りファイル数が変わらない場合があります。

<復元中（復元状況）>



<削除中（ファイルフォルダ選択して削除実行した場合の削除状況）>



オフィスあんしんバックアップサービスご利用ガイド **大容量バックアップ専用ツール編**

2025年9月30日 1.3版発行

制作・発行 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

※ 本ガイドブックの一部あるいは全部について、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社から文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で開示・複写・複製することを禁止する。